

第二回小・中学校通学区域

(桔梗小・塩尻西小)
(広陵中・塩尻中)

審議会を開催しました

これまでに寄せられた質問、意見を
集約し、委員に配布

9月25日、塩尻総合文化センター
で、第二回小・中学校通学区域
審議会が開催されました。

今回の通学区域だよりでは、その
概要をお知らせします。会議資
料や議事録などの詳細は、塩尻市
公式ホームページのトップページ
で、「通学区域審議会」と検索し、
御覧ください。



子どもたちのために何が最適かを意見交換

協議事項に先立ち、前回の審議
会での要望を受け、教育委員会に
寄せられた意見等について事務局
から説明しました（意見等に対す
る教育委員会の見解は、次回の通
学区域だよりでお知らせします）。



学校規模の適正化について現場の声

教育委員会の素案について、 審議会委員から多様な意見

続いて、教育委員会の素案に対
する意見交換が行われました。意
見主旨は次のとおりです（発言
順）。

- 大門七区の多くは反対。現状の
ままで、プレハブ対応を望む。
- 今通っている子は現状のまま卒業
させたいが、プレハブ教室の子
はかわいそうと思う人もいる。
- 反対の意見が多く、どうしたら
いいのか難しいが、塩尻西小学校
の児童が減少し、支障があるの
ら考えなければいけない。
- 十年ほど前に塩尻西小学校に行
きたい大門七区の一部の強い要望
を教育委員会に伝えたが、行政区
単位が大原則とのことだった。
- 大門七区の意見については、す

べてとはいえないが、ほとんどが
反対意見で間違いないと思う。

○そもその出発点が区画整理だ
と聞いたが、280世帯なので、
今回の見直しだけで担保されるか
大変疑問だ。

○どう審議していけばいいか不安
○多くの反対意見を重視したい。

○通学区域を変更しない場合の支
障を確認したい。

○学校現場では、子どもが多すぎ
ても少なすぎても懸念がある。

○地区が分断されるのは反対だ。
○途中からではなく、小学校入学
から変更すればどうか。

今後の方向性について

今後、地域の方との意見交換会
の開催などを教育委員会から説明
し、閉会しました。

審議会委員と地域の方の意見 交換会にお越しく下さい

審議会委員と地域の方の意見交
換会を開催します。

お子さんの年齢に関わらず、ま
た、大門七区だけでなく、関係4校
の他の地区の皆さんも、ぜひ御参加
ください。

■日時 10月25日（水）
午後7時～

■場所 塩尻市保健福祉センター
3階市民交流室

発行 平成29年9月29日 塩尻市教育委員会

通学区域見直しに関する御意見等は、教育委員会事務局こども教育部教育総務課学校支援係に電話
(TEL0263-52-0830) 又はEメール (gakkou@city.shiojiri.lg.jp) でお寄せください。

通学区域だよりは、塩尻市公式ホームページ (<https://www.city.shiojiri.lg.jp/>) にも掲載しています。